

平成 29 年度 第 1 回意見交換会実施記録

1. 実施結果

- ・開催日時 平成 30 年 1 月 15 日 (月) 19:00~20:30
- ・会場 ラ・ホール富士 5 階研修室
- ・概要 新環境クリーンセンター循環啓発棟 (修理再生エリア・余熱利用体験エリア) の基本設計に対する市民の意見聴取を行った。市民の意見をより多く引き出すためにワークシートやペアトークといった参加型の進行を行った。また、現時点の市民参加の状況確認や運営方法を考えるにあたって参考になる様な話題提供ならびにアンケートを行った。
- ・出席者 市民 24 名、事業者 8 人 (5 社)、富士市役所職員 5 人、設計施工監理会社 1 人、進行 1 人
- ・進行 坂本竜児 (NPO 法人エコデザイン市民社会フォーラム スタッフ)

2. 内容

(1) これまでのおさらい

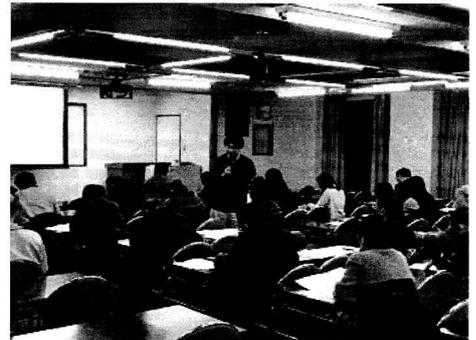
- ・久しぶりの集まりになった。エコットも停滞期があった。市民が主役の学習施設を目指して再スタートしたい。
- ・今日は建物の基本設計についての意見交換を行う。時間が限られているが意見を多くもらえるような工夫をしたい。
- ・市も市民もエコット方式で環境学習施設を整備したいというが、エコットのどんなところを取り入れたいかはほとんど議論されていない。何となく 3 つくらいは思っているのではないか。
- ①自分の意見が取り入れられた施設ができる ②市民が主役・活動している ③たくさんの人が訪問してくる

(2) 事前ワークと基本設計の説明

- ・いきなり設計図を見る前に少しワークの時間を取りたい。身近な施設 (自宅、スーパーやデパート、公共施設など) を想像して、不便だな、これはいいなという点をワークシートに記入する。記入が終わったら隣の人と意見交換。
- ・基本設計の説明 (川崎重工担当者)
- ・基本設計を聞いて、いいなと感じたところ、ちょっと気なるなと思ったところを記入する。記入が終わったら隣の人と意見交換 (ペアワーク)。
- ・書いていることは全て整理して、次回に回答するがどうしてもこの場で発言したいことがあれば挙手してください。
- ・10 項目程度の質問に対し川崎重工担当者、JV、司会で補足した。

(3) まとめとアンケート

- ・市民が主役になるためには市民が主体にならないといけない。今日は時間が無いが今後どうしていきたいかみなさんの意見を聞きたい。アンケートに考えを書いてください。



会議進行の様子



基本設計の説明



ペアワークの様子

以上